

施策評価シート

施策等名称	文化芸術を活用したまちづくり	体系番号	0201020304
		主管課	生涯学習課

1 施策基本情報

現状と課題	茅野市では国宝土偶「縄文のビーナス」「仮面の女神」に代表される「縄文」を活かしたまちづくりを進め、地域の歴史的魅力や特色を国内外へ積極的に発信するとともに、関係団体との連携を図り、まちの賑わい創出や地域活性化に取り組んでいます。また、文化芸術が持つ創造性を地域の様々な課題解決の手段として活用する動きが注されていることから、伝統的な祭りや文化財・芸術作品の展示、映画祭、アートプロジェクト、イベント等といった地域の文化資源や文化芸術活動を産業・観光・福祉などの分野で活用し、地域の新たな魅力やブランドを創出する取組が必要とされています。
めざす将来像 (あるべき姿、基本的な考え方)	文化芸術を様々な分野に活かし、賑わいや交流を生む取組を進めます。

施策指標	指標名称	指標の説明(単位)	計画策定時	2022年度目標値	
				2027年度目標値	2027年度目標値
①	尖石縄文考古館来館者数	人	53,824	60,000	70,000
②	「茅野ブランドの創出」の取組に対する市民満足度	%	20.00	25.00	30.00
③					

施策の柱 1	名称	文化芸術を活用したまちづくりの推進		主管課	文化財課・地域戦略課		
	詳細	地域の伝統文化、文化芸術活動を活用し、地域振興につなげる取組を推進します。					
	まちづくりの目標指標	指標の説明(単位)	計画策定時	2022年度目標値 2027年度目標値	柱を構成する主要事務事業	区分	
	1	尖石縄文まつり入場者数	縄文まつり来場者数(人)	3,800	4,000 4,000	1 尖石縄文まつり事業(関係団体支援等事業費の内)	実施
	2	ハケ岳JOMONライフフェスティバル来場者数(3年毎)	ハケ岳JOMONライフフェスティバル来場者数(人)	29,425	32,000 36,000	2 ハケ岳JOMONライフフェスティバル事業(縄文プロジェクト推進事業費の内)	実施
	3						
	4						
	5						
	6						
	基本政策間連携						

施策の体系	名称	産業・観光分野における文化芸術の活用		主管課	観光まちづくり推進課・商工課		
	詳細	滞在・交流型観光プログラムにおける地域の伝統文化や文化芸術活動の活用を推進します。					
	まちづくりの目標指標	指標の説明(単位)	計画策定時	2022年度目標値 2027年度目標値	柱を構成する主要事務事業	区分	
	1	地域資源を活用した旅行商品の開発	推進機構が造成する独自旅行商品の累計数(件)	0	50	1 観光まちづくり推進事業	実施
	2	縄文関連商品の開発	縄文関連商品開発件数(件)	0	2 2	2 縄文関連商品開発支援事業(新商品開発支援事業)	実施
	3						
	4						
	5						
	6						
	基本政策間連携						

施策の柱 3	名称	健康・福祉分野における文化芸術の活用		主管課	中央公民館・健康づくり推進課 高齢者保険課		
	詳細	福祉施設・医療機関と連携した鑑賞事業や健康づくりと史跡めぐりのコラボレーション等、従来からある事業に文化芸術の視点を加えあらたな活用を図ります。					
	まちづくりの目標指標	指標の説明(単位)	計画策定時	2022年度目標値 2027年度目標値	柱を構成する主要事務事業	区分	
	1	高齢者大学参加者数	参加者数(中央公民館と地区学部の参加者数 定員150+60)	210	210 210	1 高齢者大学事業	実施
	2					2 高齢者作品展(老人いきがい対策事業の内)	実施
	3					3 運動習慣づくり事業	実施
	4						
	5						
	6						
	基本政策間連携						

施策等名称	文化芸術を活用したまちづくり	体系番号	0201020304
		主管課	生涯学習課

2 指標等の推移と変動要因

体系区分	成果指標名	計画策定時	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
指標No.		中間目標値	実績値 / 達成率(実績値÷目標値)				
施策	尖石縄文考古館来館者数	53,824	56,953				
1		60,000	94.92	0.00	0.00	0.00	0.00
変動要因等	2018年度	平成29年度は八ヶ岳JOMONライフフェスティバル期間中無料入館の影響で増加したが、平成31年度は無料入館なしのため減少となった。					
	2019年度						
	2020年度						
	2021年度						
	2022年度						
施策	「茅野ブランドの創出」の取組に対する市民満足度	20.00	22.40				
2		25.00	89.60	0.00	0.00	0.00	0.00
変動要因等	2018年度	市民アンケートによる満足度。2.4%増。					
	2019年度						
	2020年度						
	2021年度						
	2022年度						
柱1	尖石縄文まつり入場者数	4,000	4,240				
1		4,000	106.00	0.00	0.00	0.00	0.00
変動要因等	2018年度	縄文まつりの案内配布を予定通り実施できたこともあり、入場者数が目標値を上回った。					
	2019年度						
	2020年度						
	2021年度						
	2022年度						
柱2	八ヶ岳JOMONNライフフェスティバル来場者数(3年毎)	29,425	-				
2		32,000	-	0.00	0.00	0.00	0.00
変動要因等	2018年度	3年毎の実施。次回は2020年度(令和2年度)の開催。					
	2019年度						
	2020年度						
	2021年度						
	2022年度						
柱2	地域資源を活用した旅行商品の開発	0	19				
1		50	38.00	0.00	0.00	0.00	0.00
変動要因等	2018年度	地方創生推進交付金を活用し、モニター実施等による資源磨き上げを図り、19種の滞在交流プログラムを商品化した。					
	2019年度						
	2020年度						
	2021年度						
	2022年度						
柱2	縄文関連商品の開発	0	1				
2		2	50.00	0.00	0.00	0.00	0.00
変動要因等	2018年度	1件開発。					
	2019年度						
	2020年度						
	2021年度						
	2022年度						

施策等名称	文化芸術を活用したまちづくり	体系番号	0201020304
		所管課	生涯学習課

No.	成果指標名	計画策定時	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
		中間目標値	実績値 / 達成率(実績値÷目標値)				
柱3 1	高齢者大学参加者数	210	215				
		210	102.38	0.00	0.00	0.00	0.00
変動要因等	2018年度	本学(中央公民館実施)145人、3地区学部70人(泉野20人・北山31人・湖東19人)計215人が参加。					
	2019年度						
	2020年度						
	2021年度						
	2022年度						
			#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!
変動要因等	2018年度						
	2019年度						
	2020年度						
	2021年度						
	2022年度						
			#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!
変動要因等	2018年度						
	2019年度						
	2020年度						
	2021年度						
	2022年度						
			#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!
変動要因等	2018年度						
	2019年度						
	2020年度						
	2021年度						
	2022年度						
			#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!
変動要因等	2018年度						
	2019年度						
	2020年度						
	2021年度						
	2022年度						
			#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!

施策等名称	文化芸術を活用したまちづくり	体系番号	0201020304
		主管課	生涯学習課

3 評価・改革改善

(単位:円)

項目		2018年 (前年度比)	2019年 (前年度比)	2020年 (前年度比)	2021年 (前年度比)	2022年 (前年度比)
投資額	事業費(円)	125,870,993	149,508,000	1.19		
	うち一財(円)	107,658,916	113,083,000	1.05		
	増減理由 (一般財源 前年度比 ±10%以上 の場合に 記載)					
進捗評価		おおむね順調				
総合評価	主な取組内容や成果	<p>縄文まつりの来場者は市外、県外からも増えており、茅野市の縄文文化の重要性を知ってもらう大きな機会となっている。 また、長野・山梨の関係14市町村で構成した縄文文化圏が日本遺産に認定され、縄文を発信する機運が高まった。</p>				
	課題	<p>「まちづくりに縄文文化や国宝などの文化遺産が活用されている」と思う市民の割合は65%前後で横ばい。多くの市民に取組への興味や関心を持ってもらえるような展開が必要である。また、地域の伝統文化を活用した滞在交流プログラムも開発されたが、利用者数は伸びていない。</p>				
改革・改善	改革・改善内容	<p>第1回ハケ岳JOMONライフフェスティバルに向けた体制づくりを行い、広く市民が参加できるような企画の構築を図る。</p>				
	施策の柱等の重点化	重点化する施策の柱	1			
		重点事務事業	2			
理由	<p>茅野市の宝である「縄文」をシティプロモーションの重要なコンテンツと位置づけていることから、第1回ハケ岳JOMONライフフェスティバルの開催により、魅力を広く発信し、知名度の向上を図ることが重要である。</p>					

作成担当者	北澤 ゆき子				
最終評価責任者	平出 信次				
最終評価年月日	2019年5月31日				